

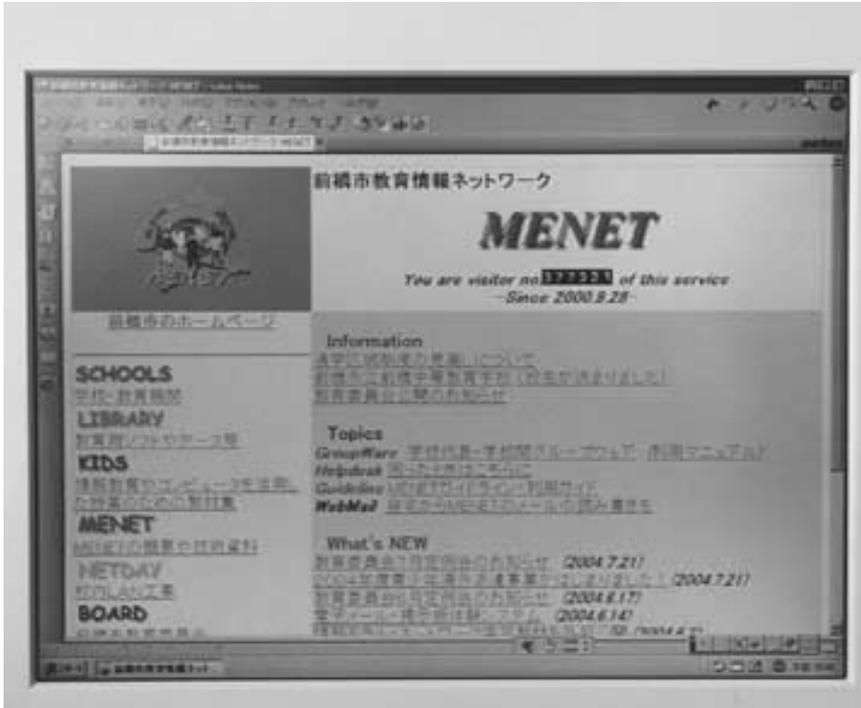
## 長時間の利用 気を付けて

テレビ、コンピューター、ゲーム、携帯電話などによる子どもへの影響について、さまざまな調査研究が行われていて、報道もされています。

例えば、長時間、コンピューターを利用すると、身体の症状だけでなく体力やエネルギー、気力の阻害につながるという調査

毎日一時間以上、テレビゲームをすると、感情や創造性をつかさどる脳の活動が低下するという調査などです。

しかし、まだ完全には解明されていません。家で学習している時間よりも、テレビやパソコンの画面に向かっていている時間の方がはるかに長いという子どもが多いのが現状ではないでしょうか。成長期の子どもに与える影響は、想像以上に大きいと思われる。



メネットのトップページ

## さまざまな 危険もあります

コンピューターなどによる子どもへの影響は、健康についてだけではなく、近年、ネット犯罪や出会い系サイトに関する事件の報道が連日のようになっています。特に、小学生が友達とのチャット上でのやり取りでトラブルとなり、起こした事件は、まだ記憶に新しいのではないのでしょうか。

また、インターネットのホームページには、子どもに悪影響を与える不適切なものも数多くあります。こうした情報を子どもたちが、容易に見ることができるといった点が問題です。

各学校では、暴力や性に関するものなど、教育上、不適切な情報へのアクセスができないようになっています。また、子どもたちのプライバシーにかかわる情報は、外部から見ることができないようです。

しかし、家庭内では、こうしたセキュリティをかけることが難しい場合もあり、親が常に注意していかなくてはなりません。

## 大切ですが 情報モラル教育

インターネットでのチャット

や掲示板などは、双方向の情報媒体であり、個人が匿名で自由に書き込みができる点特徴です。そのため、差別的な内容や個人を攻撃する過激な内容など、無責任な書き込みも数多く見受けられます。

しかも、どのような内容を書き込みしたのかチェックしづらいという点では、有害なホームページよりも問題です。発言の内容がどのような影響を与えるか分かりません。被害者になるだけではなく、子どもが加害者になる可能性も大いにあるのです。

また、将来、大人になってからネット犯罪の加害者にならないようにするためにも、情報モラルの教育が大切です。子どもの発達段階に合わせた指導が大切です。

## 親子一緒に 守ってあげませんか

情報モラルについては、インターネットのホームページでもたくさん情報が公開されています。また、メネットでも、情報モラル・ネットワーク学習教材を外部公開しています。コンピューターウイルスや不正アクセスに対応するためのセキュリティについて、チャットや掲示板でのコミュニケーションの

マナーやルールについての情報もあります。

もちろん、情報モラルの必要性は何も子どもだけに限った問題ではありません。親子ともと一緒に学び、考えてみてはどうでしょうか。情報モラルに関するホームページを子どもと一緒に見ながら、いろいろ話し合ってみることも大切です。そうすることで、親子の会話もきつと増えるに違いありません。

## 学校と家庭の 連携が不可欠

家庭にもパソコンが普及している現在、情報モラル教育は学校だけでは不十分になっていきます。親がもっと関心を持たなければなりません。

子どもはどんなホームページを見ているのでしょうか。有料ページにアクセスした場合は、請求が来るので分かりませんが、むしろ問題は無料ページです。暴力、薬物、犯罪などに関する不適切なホームページはたくさんあります。インターネットの使い方を親がこまめに見守ることも大切です。

学校もコンピューター教育の情報を知らせ、ともに協力しながら、子どもをネット社会の影から守っていきましよう。